

授業参観アンケート回答結果について

平成27年10月19日(月)から10月30日(金)の期間に実施された授業公開に対するアンケート調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。お蔭様で多数の回答が寄せられましたので、授業を参観した感想や意見について学内に向けて公開いたします。工学部教育企画委員会FD部会では、これらの感想や意見を参考に今後の授業公開のあり方やアンケートの調査方法について審議することにしておりますので、引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

【アンケート(b) の質問内容】

質問1 授業を参観して、ご自身の授業で改善しようと思ったことがあればお書きください。

質問2 授業参観の実施に対して感想や意見を自由にお書きください。

【質問1 に対する全回答】

(機械工学科)

- ・板書は大きな字で丁寧にする。また、学生がノートを取る時間を十分に確保するように注意する。板書と説明を同時にしない(話しながら書かない)。予備知識の確認をしながら講義を進める。
- ・従来、黒板の右下に番号をふっていたが、右上に書いた方が分かり易い。
- ・ハンドマイクを使うと、音量が大きく、話は聞き易い。今まで、ピンマイクであったが、ハンドマイクの方が良いかもしれない。
- ・参観した授業の中で、後ろの方の席で何人かの学生が寝ている場合があった。これらの学生は、講義を聞く必要性を感じていないのではないかと、思いました。自分の授業でどの程度、寝ている学生がいるか、改めて調査したいと思いました。
- ・板書の文字を十分大きく書くこと。
- ・授業中に学生へ問いかけを行うことで、注意を喚起すること。
- ・少しでも綺麗でわかりやすい板書を心掛けようと改めて思いました。

(電気電子システム工学科)

- ・90分間、ただ授業をするだけではなく、抑揚をつけながら重要項目や注意事項を強調し、講義のハイライトがつかめやすくなるよう工夫する。
- ・比較的、白のみをつかって板書をしてしまうことがおおいため、煩雑にならない程度に効果的に黄色や赤色を使おうと思う。
- ・講義形式の授業の中にも学生との双方向性を持たせるべく、たまには学生間で話し合わせたり、学生を指名して答えさせても良いかもしれない。
- ・板書では空白を有効に活用する。
- ・1枚のスライドの情報量を工夫したい。
- ・後部の座席までを含め、より見やすく聞きやすく、後ろの学生も集中が途切れない授業の遂行を心掛けたい。

- ・速度をかなり抑えながら一定の量を保つことで、学生がついてきやすいようにする工夫は常に必要と感じた。
- ・特になし。
- ・質問が出るような講義、質問に真摯に答える講義が重要だなと思いました。
- ・授業終了後の質問が多いので、できれば授業時間内に質問しやすい仕組みが必要と思いました。
- ・工-55 番教室の最後尾から黒板やプロジェクタ画面を見て、自分の講義では文字が十分大きいのか、受講生が読みやすいか、改めて注意すべきだと思いました。
- ・今後、受講人数の多い教室で講義を行う時に、より良い解説効果を挙げるために、以下のことに特に注意する必要があると思っています。
 - 1) 板書を丁寧に大きく書くこと。
 - 2) カラーのチョークも活用すること。
 - 3) マイクを使用し、元気な声で解説すること。
 - 4) 時間が許す限り、例題を多く解説すること。

(情報システム工学科)

- ・まず、自分の発問のアプローチを改善しなければなりません。というのは、クラスの雰囲気や生徒の反応によって、アプローチの仕方が異なっていると思います。質問のタイミングの違いによって学生の反応も変化し、その変化に臨機応変に対応して、学生の考えと知識を引き出すと工夫しなければなりません。
- 次に、授業の一番重要な内容を明確し、そのため余談の話に授業が脱線していても、授業の一番重要な内容と関連づけて、学生が理解しやすいように説明するべきだと思います。
- また、きれいな板書は学生の立場から授業するという事です。先生が板書するきれいな円、きれいな図形は学生を黙らせる力を持っています。文字も同様です。われわれ若い先生は一生懸命に板書をきれいにしようと奮闘するべきですが、私を含めて多くの若い先生たちは電子PPTを使って授業を行っていて、きれいな板書を書けていません。
- ・授業終了時にアンケートを収集し、講義内容に対する疑問点や「もっと説明してほしいこと」を吸い上げ、次回の授業で疑問点の解消や追加説明をする、という方法は、手間がかかるが授業効果の上がる良い方法なので、ぜひ自分の授業でも実施したい。
- ・大教室での授業の際は、最初に後ろの方に座っている学生に問いかけをする等の対応をすることで、授業に集中してもらえる可能性があるため、機会があれば試みたい。
- ・最初に具体的な応用事例や現象等を示した上で、内容に入る構成にする。
- ・特に1年生向けの必修授業を持つ際には、授業に参加する習慣が身につくよう工夫する(名前を呼び上げて出席を取る、等)。
- ・講義中にスマートフォンをいじっている学生が多いので、注意する必要があると感じました。

(応用化学科)

- ・学生が講義に追いつけるスピードと講義を理解するための間の取り方は、参考になりました。
- ・教科書の順序に従うだけでなく、必要であれば先の内容にも触れることで、より学生の興味

を引けるのだと感じた。

・自分の授業が早口で急ぎがちになる点を反省したい。その他の点については、これまでの授業参観を通して改善できていると思う。

・強制的に学籍番号順に着席させて規律を維持する必要があると感じた。また、遅刻を防ぐには出欠をとることも必須のようだった。

・なるべく学生との対話を大切にしようと再確認しました。

・有機材料化学Ⅱを聴いて、板書の量や話すスピードを調節して学生が自ら考え理解する時間をつくっていたように感じた。自分は、あれもこれもという風にかかなりの情報量を板書したり、一気に話してしまったりする傾向があるので改善に努めようと思った。

・講義最初の時間で、前回の復習を行う際には少し話すスピードを速くし、本題に入ると一転して丁寧に話すなど、メリハリのついた話し方をする工夫がなされていた。こうすることで、講義時間を節約できるだけでなく、学生の集中力を高めたり講義への入り方をスムーズにしたりしているのを観てとても参考になった。

自分の講義では、ついつい説明が長くなり、メリハリがついていないと感じていたので上記のような講義展開を自分の講義にも取り入れたいと思った。

・講義で説明する内容は、絶対に理解してほしいことだけではなく、教科書には書いていない、新たな研究結果などより発展的な内容も混ぜることが必要だと感じた。

・配布した資料に書いてある内容でも板書して学生の手を動かせる方が、学生が講義を聞く傾向にあるので、板書は少し多めでもよいのではないかと感じた。

・パワーポイント原稿の作成方法が参考になった。

・「背景や関連した内容の話題」は好ましいと思うが、一方でその間が学生は緊張がゆるみ、寝てしまうことになってないか、気になった。自分であれば、授業中に学生に発言を促す、板書を増やすなどを検討するだろうと思う。

・参観した講義では、学生が比較的良く授業を聴講していたので問題なかったが、講義中に学生の様子に注意を払う必要がある場合も少なくない。講義の仕方によるものか、学生(学年)によるものか、反省も含めて考えてみたい。

・出席の取り方および小テストの実施法に関して、自分にも工夫すべき点があると感じた。

(機能材料工学科)

・分かりやすい講義をされる先生方は、講義内容が精査されていて時間内に教えることを欲張っていないことが印象的でした。自身の講義内容を振り返って見た時に、もう少し整理できる部分があるのではないかと感じましたので、次年度より内容のスリム化を考えたいと思います。

・一方的になりがちな授業ではなく、学生に思考させる学習とのバランスを考えた授業を展開するように努めようと思いました。

・特にございません。

・ホワイトボードに書く時は、後ろからでも見やすい様に書きたい。

・ゆっくりわかりやすい言葉で説明する。

・パワーポイントを用いた講義では1枚のスライドの説明にかかる時間、学生がノートをとる時間に十分留意する必要があることを認識致しました。

- ・学生が躓いている箇所を知るための手段として質問票の有用性を認識致しました。
- ・理解を促進する様なプリント、対話型に近い授業、指名による質疑応答と理解度の検証は大変重要であると実感した。

(建設工学科)

説明のスピードと説明可能な量との調整が重要であり、自分の担当の講義について再度点検したいと考える。

- ・自分の講義においても、以下の点を改善する事を考えている。

パワーポイントと参考資料との関係や、タブレット出席と資料配布を同時に行うこと、自習内容と中間テストとの関係など、多くの点が参考になった。これらを、講義の特性に応じて可能な範囲で自分の授業でも改善に役立てる予定である。

(環境共生学科)

・たとえ基礎科目であっても教科書の内容を分かりやすく教えるだけでなく、実際の現象を実験して見せるなど、工学的な興味を実際に見学(体験)させることで引き出す工夫も重要であると感じた。

・板書の仕方や見やすさなど、これも学生の集中力に関わると考えられるため、配付資料にまとめる内容、板書する内容など、テクニク的なことも意識していく必要性を感じた。また、常に部屋の最後列を意識し、文字や声の大きさなども配慮していきたい。

・一方的な講義ではなく、出席や質疑応答、板書中でも様々な話題を提供し、学生とのコミュニケーションの取り方を検討していくことの重要性も改めて感じた。

【質問2 に対する全回答】

(機械工学科)

・貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

・授業参観を実施することは、教員の教授法の向上に役立ち、良いことと思います。

・授業を参観するかについては各教員の判断に任せる方が望ましいと考えます。

・このアンケート用紙においては、「。」と「。」および「。」と「。」が混在しております。この行事の過去のアンケート用紙を調べたところ、当初小原先生が作成されたものはきちんとされていたものの、数年前にどなたかが書き換えられた後、誰も気づかずに今に至っているのだと思いますが、ちょっと雑なのではと思います。

また、このアンケートは無記名となっておりますが、記名して意見を述べるくらいの責任を求めても良いと思います。(機械工学科:山本)

(電気電子システム工学科)

・過去ベストレクチャー賞を受賞された経験のある先生方に模擬授業をしていただき、新人の先生方は半ば強制的にその講義を聴講する機会があっても良いような気がします。

・授業参観の前には、授業をされる先生方へ念のため了解を取る必要があると思うのですが、

この手続きを簡素化するために web 上で参観予約ができるシステムを作ってほしい。

・模擬授業をやってみたい、という先生を募集し、その授業を複数人の先生で参観しその後ディスカッションする、といったような試みがあっても良いかもしれない。

・他の先生方の講義を聴講できる良い機会なので、今後も是非実施して欲しい。

・他の先生の授業の進め方や、最後部の座席に座って聞くなど学生の立場に立っての受講の良い機会であり、続けることが望ましいと思う。

・授業参観は有意義な施策ですが、このアンケート(b)は毎回提出する必要はなく、任意で十分だと思う。

・授業参観は今後も継続した方が良いと思います。

「見てもらう」よりは「見る」方が FD の効果は高いように思います。

アンケート結果について、授業の方法を高く評価するポジティブな意見は、どの講義かはさておき、みんなで共有する方が良いような気がします。

(情報システム工学科)

・授業参観の実施は特にわれわれ若い教員にとって、とてもいいチャンスであり、他の先生方の授業を参観し、うまい授業のアプローチを学ぶことができると思います。確かに今回の授業参観の実施のおかげで、先生方の授業参観をさせていただく中で、学ぶことが多くありました。また、授業参観の実施にどの学科の授業を参観されても結構ですので、自分の専門の学科以外の授業を始めて参観しました。他の学科の授業は自身の授業に役に立つところ(例えば、物理分野の授業にきれいな板書を書く必要があると思います)を見つけ、今後自分の授業に生かしたいと思います。

・後ろの方で参観していると、自分で授業をしているよりもはっきりと学生の様子が見える。どのように学生が授業に取り組もうとしているのかをより客観的な視点で観察できるいい機会、その視点を自分の授業に活かせると思う。

・この機会に授業を聞く側になってみることで、自分の授業のやり方を見直すよききっかけになる。

・日常業務に追われて授業参観の時間はなかなか取れないと思うのですが、実際に参加してみると毎年新たな発見があり、講義に対して新鮮な気分を感じています。今後も継続していくことは大切であると思います。

(応用化学科)

・他の先生の良い講義を聴けてためになりました。

・他の先生の授業を聞けるだけでなく、それら授業に対する学生の態度が観察できるので、非常に良いと思う。

・同じような授業スタイルが多く、参考にできるような授業が少ないと思う。液晶プロジェクターや電子黒板などを利用した授業が、専門知識を身につけさせるという観点から、どれほど有効か、有効でないのか、議論できるような授業を参観してみたい。

・とても良い制度であり、今後も続けるべきと思う。

・所属している学科の先生方の講義は一通り参観させていただいた。他の先生の講義を参観することは勉強になることが多いので今後も続けるのがよいと思うが、やや新鮮さが薄れてき

ているので、新しい企画があってもよいかもしれない。たとえば自身の授業を VTR に撮って自らが検証するなど一案かと思われる。

・特になし。

・他の先生方がどのような講義をしているのかを知る機会是他にないので、新鮮に感じた。自分の講義に他の先生が来たらとても緊張すると思うが、それがよい刺激になるかもしれないと思った。

・今後も続けると良いと思います。

・同じ学科の先生の講義はほとんど聞いてしまったので、他学科の先生の講義を聞きたいが、他学科では入り難い場合がある。

結局、聞きに来ている教員の顔が分かり、FD 委員も見るので、アンケートで本音は書きにくいのではないか。

ベストティーチャー賞を取られている先生方数人に回っていただき、改善点を聞く等の機会があれば、是非助言を頂きたい。

(機能材料工学科)

・授業担当の先生方にお渡しするアンケートですが、無記名にする意味があまりないように思います。これまでも授業参観させて頂いたところでは、参観している教員が1~2名ですので、授業担当の先生も誰が見に来ていたか分かっているのではないのでしょうか？それならば、むしろ記名式にして教員同士で積極的に意見交換などした方が有意義かと思います。

・教育の質の向上に役立つ良い機会だと思いました。

・参観して頂くのは歓迎です。建設的なコメントを頂けたら幸甚に存じます。

・毎回参考になる点はあるので続けていっていいと思います。

・授業参観をして参考にするべき点は必ずあると思う。さらに、自身も参観されると自己反省が自然と促され、その点でも良い行事ではないかと思う。

(建設工学科)

・このような機会があるのは有益と思います。

・現在の方法で良いかと思います。

自分の講義実施にあたって参考となる良い機会だと思いますので、今後も継続されることが良いかと考えます。

(環境共生学科)

・今後も是非継続して頂きたく思います。